

長生郡市広域市町村組合議会・令和2年第1回定例会・一般質問

令和2年2月7日

○議長（松野唱平君） 一般質問を続けます。通告に従い、2番 はつたに幸一君。

○2番（はつたに幸一君） 皆さん、おはようございます。議席番号2番、茂原市のはつたに 幸一でございます。私は、茂原市の議会においても、広域で手を携えてやるのがどれだけ重要かということ をさんざん訴えてまいりました。過去においては、一端を挙げるのであれば、インバウンド が増えているこの時代、それから、介護だとか農業だとか建設だとか、労働生産年齢がどん どん上がってくる中、これはやはり外国人の力がどんどんと増える、これはもう見えている ことございまして、そういった中で、観光行政、成田、羽田、都会からも近い、国際空港 もあり、それから、都会からもこれだけ近いという中で、何とかこの地域、人口減少ではな くて、移住定住につながるような訪問人口を増やしていく、このために今こそ手を携えて、 今日各首長さん、それから、各町村の代表の議員さんもおいでなので、改めてこの点を皆 さんに訴えていきたいと。 もう一つは、今、茂原市民会館が建て替えに差しかかっております。私はこの 800 席の市 民会館を現状のところ に建て替える、そういったことを茂原市では、私はさんざん広域で検 討できないかと言っているにもかかわらず、何ら聞いてもらっておりません。私はやはりこ の地域で人を集めるために、みんなで協議し、そしてお金を出し、民間の力を使い、そうい った中で、やはりこの地域を盛り上げていきたい。この地域は海もあり、山もある、そして 都会からも近い、そういった地域でございますので、改めてその一端を訴えさせていただく 中で、昨年、非常に大災害に見舞われました。ハザードマップは 50 年に一度の大災害を想定 して作られたものでございますが、実はこの 50 年にもう 6 回もの大災害が来ているわけ です。 そういった中で、川の拡幅とか、いろいろ行い、また今回も激甚災害指定で国のほうからお 金はもう下りることが決まっておりますが、それでも私は、いろいろな地域の人と手を携え、やはり住民の安心・安全を守る、住民の財産と生命を守る、これは行政の大きな役割であり、そして、我々議員の使命であります。そういったことを訴えていく中で、一般質問を通告に
-18- 従って3点、行わせていただきます。 1つ目は、その災害について。未曾有の災害があつて、茂原市も大変でございましたが、 その1つとして、広域行政としては、夜間急病診療所の現状と今後の対応についてお伺い します。昨年の豪雨災害で、この地域では甚大な被害があり、組合の施設でも特に、夜間急病 診療所については浸水に見舞われ、4日 間、中止したと聞いております。そこで、1つ目は、夜間急病診療所の今回の被害状況と、その被害額、また復旧対応についてお伺いします。 2 つ目は、夜間の一次救急で患者さんを受け入れることができない場合の救急診察の連携につ いて、お尋ねします。大きな質問の2番目として、先ほど田中管理者からも多少、紹介がございました。私は市 の中で今回、

災害ごみが茂原市の活躍によって非常に早く解消したというように考えておりましたが、先ほどの田中管理者のお話でもあるように、実はこれはこの広域の事前の予防によったというようなことを先ほどのことで分かって、その点について改めてもう一回、質問します。昨年は台風や水害等の災害が発生し、大量の災害廃棄物が発生しましたが、このような災害が発生した場合のごみ処理について、組合と市町村での役割はどのようになっているのか、また、災害廃棄物の処理の現状と、災害時における広域的な連携についてお伺いします。これが大きな2つ目の質問でございます。最後に、3つ目の質問でございます。冒頭私、申しあげましたように、広域行政で取り組む必要性について非常に訴えたい、そう申しあげましたけれども、今申しあげました広域的な防災、それから観光行政及び文化会館の広域化でございます。夜間や二次救急医療、ごみ処理等、広域組合は市町村事務の共同処理による効率化を図るために設置されており、広域的な事務効果を引き受ける組織であると考えております。1点目として、昨年の台風や豪雨災害等、近年、自然災害が増加し、その被害も増えております。このような災害に対応するには広域的な防災対策への取組が必要ではないかと考えますが、見解をお伺いします。2点目として、交通網の整備や近年の情報通信手段の急速な発達、普及によって、住民の活動範囲は行政区域を越えて飛躍的に広域化しており、また、訪日外国人観光客も年々増加しております。そのような状況の中で、広域的な公共施設等の一般的な整備や相互利用、インバウンド対策等について広域的な取組が必要ではないかと考えているところでございます。そこで、観光行政及び文化会館の広域化についての見解をお伺いします。以上で第1回目の質問を終わります。-19-

○議長(松野唱平君) ただいまの2番はつたに幸一君の質問に対する当局の答弁を求めます。鈴木事務局長。

○事務局長(鈴木祐一君) はつたに幸一議員の一般質問に御答弁申し上げます。初めに、広域行政で取り組む必要性についての中で、夜間急病診療所の災害対応についての御質問でございます。1つ目の、被害状況と被害額、復旧対応については、昨年10月25日の豪雨では、平成25年の床上40センチの浸水を踏まえ、高さ70センチの止水板を出入り口に設置し、医療機器等を2階や棚の上に移動するなどの対策を行いました。しかし、当日は想定外の雨量となり、当診療所は床上84センチ浸水し、屋外の水が止水板を乗り越え流入し、トイレや机などの上に移動した医薬品等まで水没してしまいました。また、屋外設置の非常用発電機は、浸水しないよう1メートルかさ上げしてありましたが、屋外の水位が1メートル40センチに達したことから水没してしまい、使用できなくなりました。被害額につきましては、非常用発電機や火災受信機等の交換修繕、診療所備品、医薬材料等の購入により、約600万円となり、昨年11月議会定例会において補正をさせていただき、昨年中に復旧作業を終えることができました。また、復旧にかかった費用については県補助金等の申請を行ったところでございます。復旧対応につきましては、職員及び診療所スタッフにより清掃及び消毒作業等を行い、4日間休診させていただきましたが、10月29日より再開することができました。2つ目の、夜間の一次救急で患者さんを受け入れる

ことができない場合の救急診療の連携につきましては、長生郡市内の6病院に輪番制で行っていただいている二次待機病院と連携し、対応しているところでございます。今回の災害による休診中も二次待機病院で受け入れていただいたところでございます。次に、災害対応の2つ目、災害廃棄物について、災害が発生した場合のごみ処理について、組合と市町村での役割は、また、災害廃棄物の処理の現状と災害時における広域的な連携についての御質問でございます。災害廃棄物処理については、平成31年3月に策定いたしました長生郡市災害廃棄物処理計画に基づき、廃棄物の仮置場を各市町村が設置、運営し、その後の運搬処理や事務連絡を当組合で行っております。台風15号、19号で発生した630トンの災害廃棄物は当組合施設で処理を行いました。10月25日の豪雨では茂原市、長柄町、長南町の広範囲で水害や土砂災害が発生し、当初の推計では災害廃棄物は約1万5,870トンと見込んでおりました。この災害廃棄物を迅速に処理するため、広域処理を含めた令和元年10月25日の豪雨に係る災害廃棄物処理実行計画を策定し、その計画に沿って処理を進めてまいりました。また、千葉県に支援要請し、県が協定を結んでいる千葉県内の産業廃棄物処理業者で構成されている団体、千葉県産業資源循環協会に運搬、処理を委託するとともに、市川市、船橋市、習志野市及び浦安市からごみ処理のための協力をいただいたところでございます。当初の見込みより災害廃棄物の量が少なかったこともありますが、市川市をはじめとする公共焼却施設や多くの産業廃棄物処理業者の協力による広域的な処理を行ったことにより、見込みよりも早く1月31日に全ての仮置場からの搬出を終了することができました。また、災害時における広域的な連携についてでございますが、平成8年2月23日施行の災害時における千葉県内市町村間の相互応援に関する基本協定により、千葉県及び県内全ての市町村と相互応援を行うものとしており、今回の災害についてもこの協定に基づき、千葉県及び各市に協力をいただいたところでございます。次に、広域的な防災、観光行政及び文化会館の広域化についてのご質問です。1点目といたしまして、災害に対応するには広域的な防災対策の取組が必要ではないかと考えるが、見解をとのご質問です。2つ目といたしましては、観光行政及び文化会館の広域化についての見解をとの御質問でございます。広域的な連携の仕組みを積極的に活用することで、より効率的で質的にも向上した事務処理が可能となり、市町村が互いに協力し、広域的な視点から様々な事業やまちづくりを連携して行うのが広域行政であり、その一つの方法として一部事務組合がございます。当組合も構成市町村が協議により規約を定め、千葉県の許可を得た中で、組合の共同処理する事務として現在20項目の事務事業を行っております。御質問の広域的な防災対策、観光行政及び文化会館の広域化についてでございますが、防災対策、観光行政につきましては既に各市町村において様々な広域的な取組が行われております。また、文化会館建設につきましては、現在、長生郡市には茂原市の東部台文化会館、睦沢町の睦沢ゆうあい館、長生村の長生村文化会館、白子町の白子町青少年センターの4施設があり、茂原市においては新施設建設の検討がされているとのことですので、今後、構成市町村間で十分に協議検討された結果として組合格約が改正されれば、組合事

業として実施することも可能となりますが、現時点では当組合の事務事業ではございませんことから、組合としての見解を述べることは差し控えさせていただきたいと思っておりますので、御理解いただきたいと存じます。－21－以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（松野唱平君） はつたに君、再質問ありますか。 ○2番（はつたに幸一君） ありがとうございます。まず、1点目のことでございますが、先ほど申し上げましたように、水害は今後、温暖化に伴って、今回以上の水害が頻繁に起こることが予想されます。そのため、夜間急病診療所の移転を考えていく必要があると考えますが、組合としての見解を、まずお伺いしたいと思います。2点目は、先ほどのごみの処理については、本当に広域でやはり手を携えた結果、あれだけ早いことができたということ、これは実績をもって示したことだと思います。だから、これはやはり一つ、皆さん、頭の中に入れておいていただきたい。それから、先ほどの答弁で、観光行政だとか文化会館、この点について私は、先ほど申し上げましたように、茂原市で一般質問すると、これは広域の問題だからと言われてしまうんです。私はやはり人口減をなくさなくてはいけない、そして、この地域にいかなる産業が、そして、どうやって人を呼んでいくのか、そういったことを、ここにいらっしゃる首長さん、そのトップがやはり管理者の田中茂原市長なんですね。茂原市でも広域の問題だからと片づけられてしまって、例えば、先ほどのインバウンド、観光行政についても、私がちょっと難しい、日本版DMOという、こっちに招致して面倒を見る観光業者がいるんですけども、最初は茂原市が先頭に立ってやりますと言ったんですね。それを1つ、反対した睦沢町があったから駄目だと、こういう答えです。そのうちにまた、何度も私は質問しました。最後は、町村が盛り上がったらやりますなんて、どんどんトーンダウンしていますね。これではやっぱり、私は何度もこの話は田中管理者に訴えております。オリンピック・パラリンピックはもう目の前なんです。何でこれをテイクチャンスしないのか。一過性のものだからなんて言われてしまって、私は非常に残念でならない。茂原市だけじゃ観光なんかできませんよ。やはり海がある一宮町、長生村、白子町、そして、文化財の笠森がある長南町、今、非常に道の駅、この間の災害にもよかった睦沢町、外国人が喜ぶリソル生命の森もある長柄町、こういったものもみんなでもってやりやしていく場、こういったことをやはりリードしていくのが、私はトップである田中管理者の役割だと思っているんです。なぜそういうことが、私、5年間も議員をやって質問している中で、答えてくれないんですか。管理者としてどのようにお考えなのか、お伺いしたいと思います。以上です。－22－

○議長（松野唱平君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。鈴木事務局長。 ○事務局長（鈴木祐一君） 夜間急病診療所、災害対応の再質問にお答えをいたします。夜間急病診療所の移転を考えていく必要があると考えるが、組合としての見解はとの御質問でございます。今後の水害対策として、移転も一つの方法だとは考えますが、夜間急病診療所のある長生郡市保健センターには当診療所のほかに地区医師会の事務局や訪問看護ステーションも入っていることから、医師会の意見も踏まえ

た中で慎重に判断していきたいと考えております。以上でございます。○管理者（田中豊彦君）先ほど局長が答弁したとおりであります。広域組合の事務事業ではありませんが、広域的な連携の仕組みを積極的に活用することで、より効率的で質的にも向上した事務処理が可能になることは十分に理解しております。現在は観光行政などについて、広域的組織などを設置し、連携を図っているところでございますので、今後も広域連携の強化に努めてまいりたいと考えています。行く行くは、やっぱり、今ちょっと話がかかっているのは、外房地域での連携も含めて検討したらどうかと、こういう話も舞い込んできておりますので、ここも踏まえて、外房連携も含めて検討してまいりたいと思っております。なかなか広範囲にわたると思いますけれども、この辺は広域連携にもつながってくると思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

○2番（はつたに幸一君）市民会館については。（「聞いていない」の声あり）

○議長（松野唱平君）はつたに君に申し上げます。規定による質問は終わりました。要望などがありますか。あれば簡潔にてこれを許します。

○2番（はつたに幸一君）まず、1点目はやはり医師会と本当に、検討すると言ったんだから、慎重に検討しないと、来年以降、どうなるか分からないということをお願いしたいと思っております。2点目、やっぱり広域のリーダーは田中管理者なんですよ。質問ないよと言われてしまうと困ってしまう、一番最初からずっと、流れの中で私は答えてくれるかと思っただけでも、やはり私が言うまでもなく、本当は田中管理者が各町村の首長さんとか議員さんとか、もっとリードしてやるのが本当だと私は思っておるんですよ。そういったことを改めてお願いして、私の一般質問を終わります。－23－以上です。

○議長（松野唱平君）これをもちまして、一般質問は終わります。